

トピックス1

リハビリテーションセンターの設計コンセプトは「森」

当センター施設は、平成13（2001）年に完成し、今年で21年目を迎えています。建築設計の基本コンセプトは「森」でした。すなわち「森」とは、誰もが利用しやすいものであり、施設のどの部分もハンディキャップのある人たちが使えるように設計されました。

その理念のもと、当センターは敷地面積210,000㎡（東京ドーム約4.5個分）もの広大な「とちぎ健康の森」の中にあり、散歩コースは保育やリハビリの場面でも活用され、利用者の方や職員にとっても季節を感じられる癒しの場となっています。利用者の方がいつか森の中をひとりで散歩できることも1つの目標として日々リハビリに励んでもらっています。



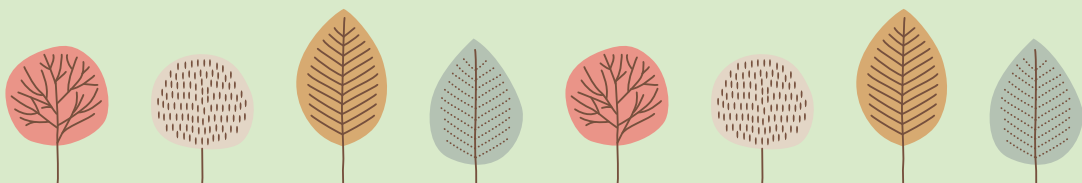
トピックス2

医療安全管理活動について

医療安全研修会

医療安全管理室では、年2回以上全職員を対象とした医療安全に係る研修を開催し、職員一人ひとりの医療安全に対する意識向上に努めています。

- ・医療安全管理室とは・・・組織横断的に院内の安全管理活動を行い、院内研修や医療安全推進週間事業の実施、医療事故防止策など、リスクマネジメントにおける実働的な役割を担っています。



今年度第1回の研修会は「医療ガス講習会」を開催



「専門的な内容で大変勉強になった」「身近な所に危険がたくさんあるのだと学べた」などと好評でした。

令和4年度新任職員研修



酸素ポンベの取り扱い研修



防災設備研修

医療安全推進週間事業

医療関係者の意識向上における組織的取り組みの促進等を目的とし、今年度は「医療安全に関する標語」を募集し、安全対策に役立てます。



標語の実施計画について話し合いの様子

トピックス3 3年ぶりにふれあい看護体験を行いました。

ふれあい看護体験
7月12日(火)8:30~12:00
大会議室、研修室にて、看護師とともに
高校生が看護体験を行います
体験内容：血圧・脈拍・酸素飽和度の測定
車椅子乗車体験
手洗い方法の確認
令和4年6月
栃本県立リハビリテーションセンター
看護部

「ふれあい看護体験」は、看護職を目指す高校生をはじめさまざまな世代の人たちに看護の魅力を伝えるイベントです。今年度は、県内の高校生9名が参加してくれました。コロナ禍を踏まえ、患者さんとの「ふれあい」はできませんでしたが、感染対策を講じながら、実際に白衣を着て看護体験を行いました。



一日看護師の委嘱状を受けて、いよいよ看護体験の始まりです♪



初めて見るもの、触れるものばかり。緊張で「ドキドキ」です。



今回の体験を通して、高校生の皆さんは、どんなことを感じたのでしょうか。
 (体験後の作文から)「看護師になろうという気持ちが強くなりました。」
 「進路選択に役立ちました。」

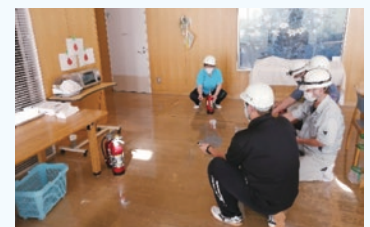
学校の先生からは、「生徒にとって初めての貴重な体験となり、職業を考える上で大変参考になるものであった。」とコメントをいただきました。

★皆さんと働ける日を楽しみに待っています。

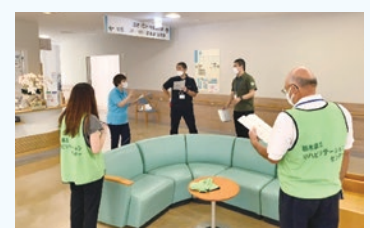
トピックス4 防災訓練について

当センターのような「病院」は、消防法上、不特定多数の者が利用する防火対象物（特定防火対象物）と位置づけられており、通報・消防・避難訓練を同時に行う「総合訓練」を年2回以上実施することが義務づけられています。

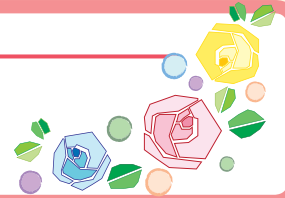
当センターにおいても、例年、上半期にセンター単独、下半期に健康の森全体で総合訓練を実施しており、先日は上半期の訓練として障害者自立訓練センターで行いました。ここ数年は、コロナ禍のため規模を縮小しましたが、参加者は、災害発生時の初動対応、避難経路の確認等、真剣に訓練に臨みました。今後も、災害時に迅速・的確な対応がとれるよう、訓練や機器点検、職員教育等、防災の取り組みを継続していきます。



訓練の様子①



訓練の様子②

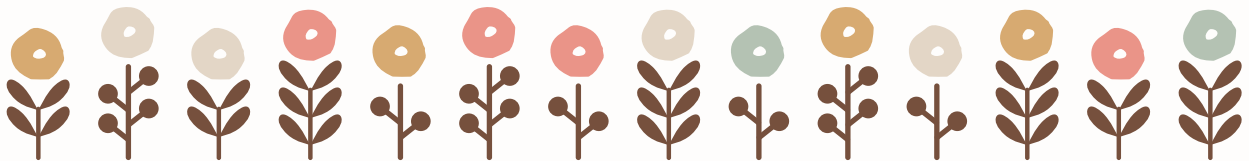


こども発達支援センターは、親子通園の施設です。今日は言語聴覚士：永岡大輔くんを紹介します。写真を見てください。ちょっと遠目ですが、素朴な感じが素敵なイケメンでしょう。高校生の彼が施設見学に来た際の写真です。（うそでえ～す、今の写真です。）

彼は、小児から保護者まで、幅広い層から人気があり、いつも子児に囲まれています。

その理由のひとつは、イケメンと締まった身体ですが、最大の魅力はそこではありません。いつも笑顔で明るく優しく、誰とでも仲良くできるところにあります。頼み事も嫌な顔をせず、常に快く引き受けてくれます。子どもの言語発達についても、勉強しながら真摯に対応しています。フットワークも軽く、すぐに教材や資料を作ってくれます。

まだまだ、未熟な部分もありますが、これからも素直な気持ちで研鑽を重ね、人の心に寄り添える言語聴覚士に、なって欲しいと思っています。



編集後記

空気がだいぶん冷たくなってきましたね。みなさまいかがお過ごしですか。

これからも当センターの様々な情報・魅力を発信し、みなさまに身近に感じていただければと思います。今後どうぞよろしくお願いたします。

